

## (1) 富士見市内の公共交通について

## 【市内の現状】(別紙 1 参照)

- ①鉄道 東武東上線 3 駅 (ふじみ野駅、鶴瀬駅、みずほ台駅)  
 ②市内バス 市営市内循環バス (運行は東武バスウエスト(株))  
 民営路線バス 4 社 東武バスウエスト(株)、国際興業(株)  
 西武バス(株)、(株)ライフバス  
 ③タクシー会社 三和富士交通(株)、東上ハイヤー(株)、みずほ昭和(株)、鶴瀬交通(株)  
 ダイヤモンド交通(株)、(有)みのり交通 (1 台)、個人タクシー (4 台)

## (駅前広場使用許可台数)

みずほ台駅東口	2 2 台	三和富士 4 台、東上ハイヤー 4 台、みずほ昭和 5 台、鶴瀬交通 3 台、ダイヤモンド 3 台
みずほ台駅西口	2 3 台	三和富士 6 台、東上ハイヤー 3 台、みずほ昭和 5 台、鶴瀬交通 5 台、ダイヤモンド 3 台
鶴瀬駅西口	2 5 台	三和富士 5 台、東上ハイヤー 6 台、みずほ昭和 4 台、鶴瀬交通 5 台、ダイヤモンド 4 台
ふじみ野駅東口	1 4 台	三和富士 2 台、東上ハイヤー 3 台、みずほ昭和 3 台、鶴瀬交通 2 台、ダイヤモンド 4 台
ふじみ野駅西口	1 4 台	三和富士 2 台、東上ハイヤー 4 台、みずほ昭和 2 台、鶴瀬交通 2 台、ダイヤモンド 4 台

合計 9 8 台+5 台

## 【市民アンケート】

- ①市民の日常の移動方法は、自動車が 28.8%。電車が 38.7%。バスが 11.0%。  
 ②鉄道駅までの移動手段は、徒歩が 57.6%。自転車が 19.0%。バスが 6.7%。  
 ③H27.4.1(ららぽーと富士見開業)以降富士見市内のバス利用がある方は 30.8%。  
利用がない方は 67.9%。  
 ④公共施設への移動手段として、自動車が 37.1%。自転車が 28.4%。  
徒歩が 23.4%。バスが 5.1%。

## 【市営市内循環バスの現状】

- ①目的 市民の公共施設などへの交通手段をはじめ通勤・通学者や高齢者・障がい者の交通手段などに配慮した運行とする。  
 ②運行形態 2 台で 8 系統を運行。(東武バスウエスト(株)が運行)  
 ③実績 平成 27 年度 一般利用者 **80,007 人**  
 特別乗車証利用者 **107,810 人**  
 収支率 **36.7%**  
 ④課題 (1) 東武東上線西側地域の運行について  
 富士見市議会において、市道第 9 0 4 号線全線開通時に市内循環バス運行の要望や鶴瀬駅西地域、みずほ台駅西地域の市内循環バス運行について一般質問がありました。  
 ⇒東武東上線西側地域は、平成 9 年当初は運行していましたが、踏切横断に時間がかかることや利用者が少ないことなどから、平成 1 6 年にみずほ台駅、ふじみ野駅の東武東上線西側地域の運行を廃止し、平成 2 0 年に鶴瀬駅西側地域の運行を廃止しています。

(2) 増便要望について

市民アンケートの市内循環バス見直しについての質問において、  
運行本数の増便要望の回答が多くありました。

⇒現在の運転手の体制では増便はできない。

(3) 市内の道路環境について

関沢地域や打越地域など狭あいな道路や踏切があることで、定時定路線のバスを運行できない地域が存在しています。

(4) 地域格差について

市内循環バスが運行していない地域（東武東上線西側地域など）が存在し、地域により利用できる人と利用できない人がおり、地域格差が生じている。

(5) 民営路線バスとの重複路線について

市内循環バスと民営路線バスが同じ路線を運行していること。  
（ふじみ野駅・鶴瀬駅から市役所周辺までの路線）

⇒市内循環バスは特別乗車証制度があるため、減便や廃止には検討が必要。

### 【市内公共交通に対する富士見市議会の意見】

①デマンド交通運行について

▶バス運行ができない地域もあるので、デマンド交通を導入してはどうか。

▶デマンド交通の早期導入

⇒市営市内循環バスの見直しやデマンド交通などの新たな交通システムについて地域公共交通会議の中で検討をしていく。

②市道第904号線全線開通後の市内循環バスの運行について

▶市内循環バスの経路に鶴瀬西地区と上沢地区が加わるのはいつごろになるのか。

⇒市道第904号線通過後、どのような経路にするか、踏切通過をする場合には遅延リスクが伴うことなどの課題を整理する必要があります。

③東武東上線西側地域の公共交通について

▶針ヶ谷、西みずほ台地域に公共交通網の早期実現

⇒踏切通過により定時制の確保が難しくなりますことから、西側地域だけの運行とする方法やデマンド交通の導入も視野に入れ、地域公共交通会議において検討する。

▶鶴瀬駅西側に市営市内循環バスのコースの新設

⇒鶴瀬西地域の高齢化率が高くなっておりますことから、高齢者の足の確保という観点から、市営市内循環バスの見直しやデマンド交通などの新たな交通システムについて地域公共交通会議の中で検討をしていく。